



森ボラ 通信

第139号 2013年12月20日発行
NPO法人北海道森林ボランティア協会

URL <http://www.shinrin-npo.info/>

札幌市豊平区平岸1条1丁目9-6 ラルズビル3F

Tel. (fax.): (011) 816 - 7010

E-mail: hshinrinv2002@nifty.com

トピックス

◆ 森林・山村多面的機能発揮対策交付金(その2)

10月号では上記交付金の背景、活動組織、対象活動と支援単価の概要を述べましたので、今回は当会の申請内容について記述します。

1. 活動地域と活動内容

当会がいつも活動している中から交付金の内容に合致した以下の地域と活動内容を選択しました。

表-1 平成25年度 対象地域と活動内容

活動タイプ	活動地域	活動内容	面積 (回数)
地域環境保全タイプ (里山林保全)	支笏湖復興の森	下草刈り、蔓処理、成長観察、補植	1.1ha
	澄川環境林	間伐、間伐材の搬出	3.0ha
	有明第二環境林	笹刈払い、地拵り、植栽、播種	0.3ha
	親子ふれあいDAY	下草刈り、植栽	0.4ha
森林空間利用タイプ	澄川環境林	森林教室	2回
	親子ふれあいDAY	森林教室	1回

2. 交付金決定額

上記の活動に対する交付金は、9月に金額が決まり表-2に示すようになりました。

表-2 平成25年度 交付金決定額

取組メニュー	交付金額(円)
活動計画策定等	150,000
地域環境保全タイプ(里山林保全)	768,000
森林空間利用タイプ	150,000
資機材・施設の整備	0
計	1,068,000

3. 交付金の使途

この交付金の使途は平成25年5月の林野庁長官通知の実施要領において、人件費、燃油代、傷害保険、車両リース代等賃借料、ヘルメット・手袋・安全靴・なた・のこぎり・事務用品等の消耗品(単体の取得価格が3万円未満のもの)、郵便料・電信電話・運搬費等の通信運搬費、書籍、委託料、食糧費、印刷費、等となっています。9月以降作業現地において配布している手袋、ノコ替刃はこの交付金を使っています。会員皆さんの活動が安全で楽しくなるように有意義な使い道を考えていきたいと考えています。

4. その他

この交付金は今のところ3年間となっていますが、森林の整備は短期間で終わるものではありません。永続的な取り組みが必要と考えます。この事業は国の会計検査の対象となり、森ボラ協会とは別会計で整理、報告する必要があることから、会計として櫃棒が担当しますのでよろしくお願い致します。(文・櫃棒)

◆ 九州大学北海道演習林(足寄)訪問記 (2013. 10. 3)

今回の九大演習林を訪問するきっかけとなったのは、2012. 7. 17の北海道新聞に掲載された「ミズナラ育成 150年実験」の記事である。今回の訪問では、約3,700haの演習林を1日かけて久米林長の案内で見せて頂いたが、私共の主活動地である札幌市澄川都市環境林はシラカンバ・ミズナラなどの二次林であり、ミズナラは約40年前に伐採され、その後、放置されて萌芽によりそれなりのミズナラが育っている。我々はこれらの森を巨木の森として残していきたいとの思いで、これまで数本立ちしている木を2本立にする作業を行ってきた。九大演習林では、40年前から約200haの演習林を150区画に分け毎年ミズナラのドングリを植えてきた。ドングリの蒔種は畝状に行い、翌年シラカンバやミズナラなどの実生を一度刈り取ってしまうと次年度にはミズナラだけが伸びてくるとのこと。これはミズナラが根に養分を蓄えることによるものとのこと



(シラカンバは切られたことで死んでしまう)。目からうろこでした(写真1)。この植栽地については、再度訪問して確認したいものです。その後、約40年前に植えられたミズナラの森に案内して頂きましたが、先ず見て驚いたのは40年も経っているのにその太さが直径20cmもない程細いとい



う事である。普段、我々は萌芽から育ったミズナラを見ており、その感覚からすると実生からの育成というのは大変であると改めて感じた。その森では、密集して細く樹高の高いミズナラが育っているが、中には光が他の木に遮られ枯れているものもある。自然淘汰である。これが最終的には適度な間隔で育成が進み用材として使える太さの木になる。それには、あと110年、最終的に150年の樹齢となる頃が良いのではということで実験が進められている。

我々の活動もその結果を見ることができないが、森林づくりは昔から孫子の代の為にとという事で進められて

きたものであり、自然の営みから考えると一桁長いスパンで考えて継続的に進められることが求められている。(文・荻田)

◆ 活動報告・収穫の喜びを味わい、今年りんご園支援活動を終了

2013年の斎藤りんご園支援活動は、11月6日の真っ赤に実った「ふじ」の収穫作業をもって終了しました。4月の剪定枝・老木処理作業から摘花、摘果、袋掛け、袋外し、葉もぎを経て11月の収穫作業に至るまで、参加された会員の皆さん、お疲れ様でした。8ヶ月間の活動をトータルしますと、延べ41日、218名が参加した森ボラの一大活動でした。

4月から7月までの前半部分は8月号で和田さんから報告済ですので割愛しますが、支援活動の後半は8月27日の葉もぎから始まりました。陽が万遍なくりんごの実に当たるように邪魔な葉を取り除く理屈は解っていても、どこまで取ったら良いのか判断



に迷い、更に既にある来年の花芽を傷めないようにと、意外と神経を遣う作業でした。

8～9月は袋外し・葉もぎの作業が続き、9月24日には少し早めでしたが天気が崩れる前にと「津軽」の収穫を行いました。5～6人で1本のりんごの木に掛かると30分ほどで全ての実が採られ、寒々とした光景に変わっていくのが印象的でした。10月に入ると収穫作業も本格化し、旭、紅玉、レッドゴールド、ハックナイン、陸奥、王林と収穫適期に沿って進んでいき、11月6日のふじで終局を迎えた次第です。



今年の出来栄を園主の斎藤さんに聞きますと、春先の低温が開花を半月程遅らせた影響で、小玉が多く八分作ぐらいとのことですが、収穫されたりんごは多くの市民に喜ばれているとのことでした。

支援活動に参加して、初めてりんごを育てる側に回っていろいろな楽しい経験もしました。先ず、樹齢80年を超えるりんごの大木がなお多くの実を付けることに驚き、袋掛けの目的は害虫除けというよりはりんごの実に鮮やかな色艶を付けるためであり、「サンふじ」は無袋栽培をしたふじのこととも知りました。収穫はやはり一番の喜びのときでした。がぶりといきたくなる

ようなりんごの、手にずっしりと伝わる感触は何とも言えません。また、生らせ過ぎが原因で実が小さいりんごを見ると、摘花や摘果での勿体ない気持ちが仇になったと反省させられもしました。

森ボラがりんご園の支援活動を始めて今年は10年の節目でした。2年前から園の一部を養護施設に貸したとはいえ、いまだ100本近いりんごの木々を斎藤さんご夫婦で維持していくのは大変なことです。今年の支援活動も無事終了したことを喜ぶと共に、今は三角山山麓の風景の一部と化したりんご園が末永く存続することを願いながら、11年目からも森ボラがささやかな支援を続けていければと思っています。（文・清澤）

◆ 忘年会・・・定山溪 湯元 小金湯

12月11日、12日2009年に続き2度目と成りましたが、23名が参加して今年の疲れを温泉で癒され、楽しい一泊となりました。大窪さんの名司会により会は始まりましたが、年寄り向きに椅子での宴会も宜しいものでアット云う間の2時間でしたが、ビンゴゲームで盛り上がり湯澤さん手作りの竹の子の瓶詰めの争奪戦に年を忘れて一喜一憂し、永田さんの丹精込のこもった銀杏は参加賞として全員に配られました。

二次会は幹事部屋で気が付いた時には12時を回っていましたが、今年も参加者からの差し入れも多く酒は余



りそうかなと思いましたが・・・例年の如く殆ど胃袋の中に消えてしまい老人パワー全開のひと時でした。

八剣山さっぽろ地ワイン研究所のワイン、都ぞ弥生ラベルの日本酒、そして今造園からのお心遣い本当にありがとうございました。

幹事さん（荻田、大窪、西野（澄））ご苦労様でした。（文・事務局）



■ 今月の幹事会

出席者：市山・大窪・荻田・樫棒・酒井・釣井・西野(備)・矢澤・和田

1. 2014年1月、2月スケジュール・・・幹事会1月10日(金)。
2. 北海道社会貢献賞授賞式：12月17日(火) KKR 札幌ホテル・出席者：酒井、荻田、市山。
祝賀会：1月20日(月) 札幌パークホテル。
3. 澄川基本計画プロジェクトの中間報告・・・12/19・25 打ち合わせ・1月幹事会に報告。
4. 森林・山村多面的発揮機能対策の経過報告・・・石狩森林管理署、コンサ、協会の三者協定。
5. 札幌市環境局と都市環境林の打ち合わせ。
12/2：成田係長、鈴木係長他4名と打ち合わせ。
12/4：鈴木係長他3名澄川視察。
6. 安全衛生教育伐木等の業務講習会(1/28～29・北広島コマツ教習所内) 樫棒参加。
7. 委員会報告
 - ・広報委員会(HP更新、ボラ通12月号)
 - ・業務委員会(1月活動予定策定)
 - ・助成委員会(花王26年度、ローソン第4期)
 - ・研修委員会(例会は多面対策の案内)
8. その他
会計報告、第二回理事会報告、オホーツクの森林ボランティア活動報告会。

■ 活動履歴

活動日	行事・活動地	参加数	活動内容
11月18日(月)	恵庭えこりん村	1	オイスカ支援：森林教室の講演
11月19日(火)	澄川	16	作業道メンテ(キャリコ用)
11月22日(金)	澄川	15	作業道メンテ(キャリコ用)
11月25日(月)	アークス本社ビル	8	第二回理事会
11月26日(火)	澄川	15	ホダ木天地返し、作業道メンテ(キャリコ用)
11月29日(土)	澄川	16	植栽木の食害防止ネット設置、チェンソ整備
11月30日(金)	恵庭えこりん村	1	オイスカ支援：森林教室の講演
12月3日(火)	澄川	19	遊歩道の危険木除去、食害防止ネット設置
12月4日(水)	澄川	2	札幌市環境局4名澄川視察
12月6日(金)	ラルズビル	9	定例幹事会
12月7・8日	北見市	1	オホーツクの森林ボランティア活動報告会講演
12月10日(火)	澄川	14	食害防止ネット設置、小屋の道具整理
12月11・12日	定山溪 湯元 小金湯	23	忘年会

2013年度第二回理事会の報告

2013年度第二回理事会を11月25日(月)アークス本社ビルで開催いたしましたので報告します。
理事12名に対して出席者7名、委任状3通を持ちまして理事会は成立しました。

今回は第二号議案の森林・山村多面的機能発揮対策に係る「森ボラ協議会」発足の経緯と6月からスタートした事業内容を中心に報告し理事会の承認を頂きました。

横山理事長からは北海道社会貢献賞受賞され、更なる森林の保護育成に邁進する事と会員の健康と安全に留意して活動を行なうようにとの訓示を受けました。

審議内容

第一号議案 2013年度前期事業報告及び会計報告。

第二号議案 森林・山村多面的機能発揮対策に係る「森ボラ協議会」承認の件。

以上